

【長崎県】

1. 背景・目的

- 上五島地域を対象に、道路施設に係る維持管理業務等の包括的管理委託をモデルとして、官民連携手法の導入可能性及び多様な官民連携のあり方を検討することを目的に、地域プラットフォームを設立した。
- 平成30年度は元船地区、公営住宅の2案について地域プラットフォームを展開し、事業化の検討を行った。

2. 事業概要

- PPP/PFIの理解・普及促進を目的とした地域協議会(地域プラットフォーム)の形成及びセミナーの開催運営。
- 平成31年度以降の案件形成に向けて、マーケットサウンディング、ケーススタディ、メンバー間での議論を並行して実施。

3. 地域協議会の取組概要

■ 第3回長崎県インフラ地域協議会

- ・ 平成30年度の長崎県インフラ地域協議会の実施計画及びマーケットサウンディングの進め方を中心に議論を行った。

第3回長崎県インフラ地域協議会	
出席者	・ 長崎県インフラ地域協議会メンバー 12名 (産3名、官3名、金3名、専門家3名) ・ 長崎県職員9名
内容	・ 前回の協議会で出された主な意見の確認 ・ 平成30年度の実施計画、サウンディングの進め方 ・ 長崎県内自治体及び民間企業へのセミナーのテーマの確認
成果	・ 前回の協議会のフィードバックによる問題点の抽出 ・ サウンディングの進め方についての意見交換

■ 長崎県PPP/PFIセミナー・マーケットサウンディング

- ・ 県内自治体及び民間企業におけるPPP/PFIの知識等の全体の底上げ、対象2事業に対する民間意向の把握を目的として開催した。

長崎県PPP/PFIセミナー・マーケットサウンディング	
参加者	・ 民間企業:51社 ・ 自治体:7自治体 ・ 長崎県職員:22名
セミナー内容	・ 多様化する官民連携手法におけるPFI手法 ・ PFIの導入事例 ・ 地域企業の参画に向けて

■ 第4回長崎県インフラ地域協議会

第4回長崎県インフラ地域協議会	
出席者	・ 長崎県インフラ地域協議会メンバー 12名 (産2名、官3名、学2名、金3名、専門家3名) ・ 長崎県職員9名
内容	・ マーケットサウンディングの実施概要、アンケート結果 ・ マーケットサウンディングを受けての今後の方針 ・ 平成31年度以降の協議会のあり方について
成果	・ 2案件の今後の方針の共有、意見交換 ・ 平成31年度以降の協議会についての意見交換、協力体制の確認

■ 個別相談会

県内自治体におけるPPP/PFI事業の案件形成の推進を目的として、第4回長崎県インフラ地域協議会の開催後、県内自治体を対象にPPP/PFIに関する個別相談会を実施した。長崎県庁内の4つの部署、県内の2市町から相談の依頼があり、それぞれ約1時間ずつ相談対応を行った

4. 取組成果と課題等

- ・ 具体的な案件を対象としたことで、地域協議会の位置付けや参加メンバー、協議すべき事項等がより明確になり、円滑に協議会の形成、開催・運営を進めることができた。
- ・ 地域協議会は、官民連携事業の案件形成を図ることを目的とするものであるが、本件の取り組みは、モデル事業の検討から着手し、具体的な案件形成に向けたステップアップが図られた。
- ・ マーケットサウンディングの実施により、具体的な課題が明らかとなった。

5. 今後の活動計画

平成31年度

目的:長崎県PPPプラットフォームの自走化

基本的には、これまでと同様の枠組みをベースとして、継続的に国(国交省・内閣府)の支援や、ブロックプラットフォームとの連携を図りながら、プラットフォームを自走化させていくことが考えられる。

- 長崎県全体でのPPP/PFIの案件形成を推進していくためには、本取組みを全庁的かつ県内市町も含めた形で展開していくことが望ましい。
- 事務局機能の見直しが課題であり、地域金融機関との協力等を検討する必要がある。